

令和元年度収支決算まとめ

納付金は減少。
しかし、保険給付費は増加
経常収支で赤字決算に

令和元年度の事業報告および収入支出決算報告が、
7月28日に開催された第74回組合会において承認されました。

健康保険

新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会と私たちの生活環境を大きく変えました。経済活動の停滞が長引くと、保険料による収入の減少へとつながります。また外出を控えることに伴う運動量の減少やストレスの増加など、健康への影響も懸念され、今後医療費がどのように変化していくのか不透明さを増しています。

かつて経験したことがない状況の中で、健保組合の財政がどのような影響を受けるのか、注視していくことが必要です。

新型コロナウイルス感染症については、かかったときの重症化の要因として年齢の他に、糖尿病や高血圧症などの基礎疾患があることが指摘されています。

自分と周囲の人を守るため、感染の予防に努めるとともに、健康的なライフスタイルを心がけて、糖尿病などの生活習慣病を予防しましょう。

当健保組合の令和元年度決算状況につきましては、
経常収支で赤字となりました。

収入面では、健康保険収入は前年度より204万2千円少ない2億2486万円でした。支出に対して不足する収入額を補うために積立金を取り崩して繰り入れました。

一方、支出面については、皆さんの医療費や一時金などに充てられる保険給付費は、前年度より322万3千円多い9668万円でした。

また、高齢者医療制度を支える財源として拠出している納付金は、前年度より345万円少ない9353万4千円でした。若干、減少したとはいえ納付金は支出全体の38%を占めており、依然として大きな財政的負担となっております。

給付金が
大きな財政的負担
となっています



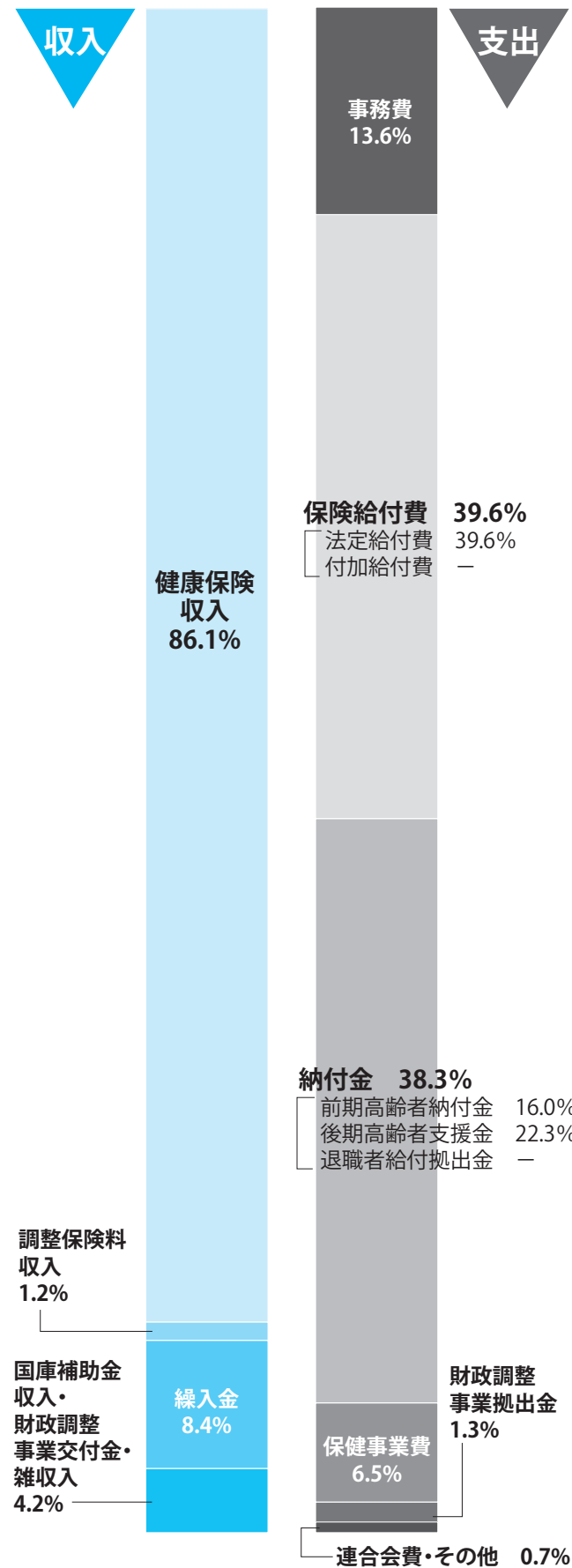
介護保険

介護勘定の収入支出決算は、収入2531万3千円、支出2456万円、差引額は75万3千円でした。

保健事業費には1583万7千円を執行して、特定健診・特定保健指導などを実施しました。
以上の結果、令和元年度決算も経常収支で赤字となりました。

令和元年度決算 収支の割合

一般勘定



※ 端数処理の影響で収入合計は100%になりません。

令和元年度収入支出の 決算概要

一般勘定

●収入

科 目	決算額
健康保険収入	2億2,486万円
調整保険料収入	322万2千円
繰入金	2,204万4千円
国庫補助金収入	487万2千円
財政調整事業交付金	25万9千円
雑収入	591万3千円
合 計	2億6,117万円
経常収入合計	2億3,056万2千円

●支出

科 目	決算額
事務費	3,327万3千円
保険給付費	9,668万円
法定給付費	9,659万6千円
付加給付費	8万4千円
納付金	9,353万4千円
前期高齢者納付金	3,897万8千円
後期高齢者支援金	5,455万1千円
退職者給付拠出金	5千円
保健事業費	1,583万7千円
財政調整事業拠出金	322万2千円
連合会費	48万2千円
積立金	97万円
雑支出	15万8千円
合 計	2億4,415万6千円
経常支出合計	2億4,093万4千円

収支差引額	1,701万4千円
経常収支差引額	△1,037万2千円

介護勘定

●収入

科 目	決算額
介護保険収入	2,214万3千円
繰入金	288万4千円
国庫補助金受入	26万8千円
雑収入	1万8千円
収入合計	2,531万3千円

●支出

科 目	決算額
介護納付金	2,456万円
支出合計	2,456万円